

【 1 日 目 】

期 日：平成30年10月19日（金）午後7時から8時

場 所：不二羽島文化センター301会議室

主催者側：副市長、総務部長、新庁舎建設推進課長、専門官、係長、設計者

参加者：41名

《進 行》

総務部長 開会

副市長 挨拶

総務部長 意見交換会の趣旨、羽島市新庁舎建設に係るこれまでの経緯（耐震性能の決定的不足、分散庁舎、ユニバーサルデザイン未対応、H28 耐震診断結果、庁舎検討委員会での諮問・答申、タウンミーティング、市民アンケート、総合的判断による現敷地内新庁舎建設の決定、国の有利な財政支援策を活用、時間的制約、基本構想・基本計画6月策定）について説明（現庁舎の問題は別問題と周知）

新庁舎建設推進課長 新庁舎建設に係る基本設計（案）について説明

《意見交換》

整理番号	市民意見交換会でいただいた 主なご意見・ご要望	当市の考え方
1	「デシカント外調機の再生熱に コージェネレーション排熱を利用」と「天井放射冷暖房」について説明を	通常の空調は、エネルギーを消費しながら冷暖房を運転しますが、この方式は、排熱を利用した運転効率のよい方式であり、また、天井放射冷暖房も、遠赤外線を利用した効率のよい方式であるため、いずれも採用を検討しています。
2	国の政策も踏まえて、教育委員会は、新庁舎の2階に配置したほうが連携が取れるのではないかと	各種アンケート調査結果などの分析に基づき、複数の配置プランを検討しており、総合窓口、休日開庁などの諸条件を踏まえ、総合的に判断した結果、3階に教育委員会を配置する計画としています。
3	障がい者雇用について（職員の執務空間に配慮、考慮がされているか）	職員動線に関しては、来庁者の方々の動線と明確に区分し、執務スペースに専用動線を設け、その幅員は車椅子の通行が可能な幅員を確保し、計画しています。

【 2 日 目 】

期 日：平成30年10月20日（土）午後7時から8時30分

場 所：不二羽島文化センター301会議室

主催者側：副市長、総務部長、新庁舎建設推進課長、専門官、係長、設計者

参加者：23名

《進 行》

〔1日目と同様〕

《意見交換》

整理番号	市民意見交換会でいただいた 主なご意見・ご要望	当市の考え方
4	新庁舎建設に係る費用はいくらか	現時点では、新庁舎建設基本構想・基本計画において提示した概算事業費の約50億円を基本として検討を進めています。
5	新庁舎の各階の面積配分は適正なのか	分散庁舎を集約した場合の延床面積と不足している会議室、倉庫等の積み上げから、新庁舎の延床面積を約9,800㎡としました。類似団体の先進事例を見ましても、職員1人当たりに係る延床面積は、過度になっていません。また、庁舎内の効率性、機能性、快適性や敷地形状など複合的な要素を踏まえ、建物形状を台形案としました。
6	新庁舎に関して職員への意見聴取（アンケート）は行ったのか	職員アンケートは、簡易的なものではなく、必要な項目を精査して実施しました。この結果を分析したうえで、各施設、設備の必要数を算出し、レイアウトに反映しています。
7	市民（中高生）ワークショップでは、どの様な意見が出たか、また、その意見の反映はどうするのか	羽島の特徴を中高生と大人のそれぞれで意見を出し合いました。自然や文化、施設、交通などについて、多くの意見が出ていました。今後は、この意見をどの様に新庁舎に反映させるか現在検討中です。
8	新庁舎の建設については、各地域で発生した地震での庁舎の状況や全国の同年代の施設の利用状況、現庁舎の現状から早急な対応を必要としないのではないか	一般的な公共施設の耐震性能を示すIS値は0.6以上とされており、市役所庁舎はより高い基準の0.9以上が求められています。平成7年の現本庁舎の耐震診断において基準値以下の0.32という結果が出ており、平成28年度に再度実施した調査結果では0.245とさらに低下しています。また、県内42市町村のうち、耐震性能が満たされていない13市町の庁舎において、既に8自治体が具体的な対策に着手しています。熊本地震では、当市と同程度の耐震性能を有していた庁舎が崩壊しました。防災機能を兼ね備えた庁舎は市民の安全を守るうえで重要な拠点施設となります。財政状況の厳しい本市においては、国の財政支援が活用できる今こそが、新庁舎を建設するタイミングであるものと考えています。
9	今でも庁舎の壁に崩落、欠落、ひび割れはあるか	建物内外において、ひび割れはあります。外壁にも一部修繕を必要とする箇所は複数あります。
10	職員用駐車場の確保については	職員用駐車場の代替の駐車場用地の選定は、既に調査済みです。
11	新庁舎建設に関する進捗内容について、広報はしまやホームページ、回覧板を用いて幅広く周知すべきである	市民の方々には、平成29年2月の庁舎検討委員会の開催から今日に至るまで、庁舎建設に関する情報について、新庁舎建設委員会やタウンミーティング、市民意見交換会の開催、アンケート調査の実施、パブリックコメントの募集等を行いました。また、各種団体への説明及び要望の聴取、単位自治会への調査なども行うことで、積極的な意見集約にも努めました。今後も、様々な機会を通じ市民の方々に正確な情報提供を行ってまいりたいと考えています。
12	新庁舎で計画している市民ロビー、市民活用スペースは、他の自治体においても設けており、また、その利用に関しては、土日の利用も検討して欲しい	市民ロビー、市民活用スペースの利用に関しては、可能な限り土日利用も含め検討しています。
13	議場の傍聴席については、もう少し緩やかに、座席の間隔も広げて欲しい	傍聴席の形状及び座席の間隔に関しても、ご意見を踏まえ、適切に検討を進めます。